学校番号	109

令和８年度　家庭科

教科	(専)家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎　ようこそ，ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

乳幼児の発達や保育に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・保育に関する課題を、児童文化財の制作や実習を通して考え、理解を深めます。また、知識を深めて、進路実現や将来の家庭生活に生かしましょう。
・友達と協力して作品を作ることで、多様な考え方や工夫を学び、自分の価値観を確立しましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、保育の意義や子どもの発達を理解し、技術を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて理解し、関連する技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
子どもを取り巻く課題について考察し、合理的、創造的に解決できる力が身に付いている。
【学びに向かう力、人間性等】
子どもの健やかな発達を目指し、自ら学び主体的・協働的に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、福祉や文化について理解している。 ・子どもの発達を理解し、適切な関わりをする技術を身に付けている。	・子ども一人一人の発達段階に適した保育について深く考え、課題解決する力を身に付けている。 ・保育に関する知識・技術を活用し、他者に対して表現することができる。	・保育に関心を持ち、保育に必要な知識と技術を進んで習得しようとしている。 ・保育園・幼稚園実習にて職員や園児へ主体的に関わろうとしている。 ・個々の意見を取り入れ、多角的な視野を持ち、主体的な保育を実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの保育	○保育の意義 ○保育の環境 ○保育の方法 ＊幼稚園･保育園交流	a:保育の意義・方法についての基本的な知識を身に付けている。 b:子どもの心身の発達に応じた保育方法や保育環境への課題を見出し、表現することができる。 c:保育の方法について得た知識・技術を、実習にて主体的・協働的に実践しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	 ワークシート 行動観察
	子どもの発達	○子どもの発達の特徴 ○乳幼児の発育と発達 ＊幼稚園･保育園交流 ＊児童文化財製作	a:子どもの発達についての特徴を理解している。 b:子どもの健全な心身の発達について、実習を通して考えを深め、的確に表現できる。 c:子どもの発達について得た知識・技術を、実習にて主体的・協働的に実践しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 製作作品	 ワークシート 行動観察
2学期	子どもの生活	○子どもの健康と生活･安全 ○子どもの衣･食･住 ＊幼稚園･保育園交流 ＊児童文化財制作 ＊幼児食調理実習	a:子どもの健康・安全に配慮した保育技術を身に付けている。 b:子どもの生活における課題を発見し、解決する力を身に付けている。 c:子どもの生活について自ら学ぼうとし、主体的・協働的に保育に取り組もうとしている。	定期考査 製作作品	定期考査 レポート 製作作品	 ワークシート 行動観察
	子どもの福祉	○児童観の変遷 ○児童福祉の理念 ＊幼稚園･保育園交流	a:児童観の変遷や児童福祉について理解している。 b:幼稚園や保育園などの役割を理解し、違いを的確に表現することができる。 c:子どもの福祉について、主体的に理解しようとする態度が身についている。	定期考査	定期考査 レポート	 ワークシート 行動観察
3学期	子どもの文化	○子どもの遊びと表現 ○子どもの文化と表現活動 ＊絵本の読み聞かせテスト ＊児童文化財製作	a:子どもの文化や遊びを理解し、実践できる技術を身に付けている。 b:絵本の読み聞かせなどを通じて、得られた技術を表現できている。 c:子どもの遊びや表現活動について主体的・協働的に実践する態度が身についている。	実技テスト 製作作品	実技テスト ワークシート 製作作品	 ワークシート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度